

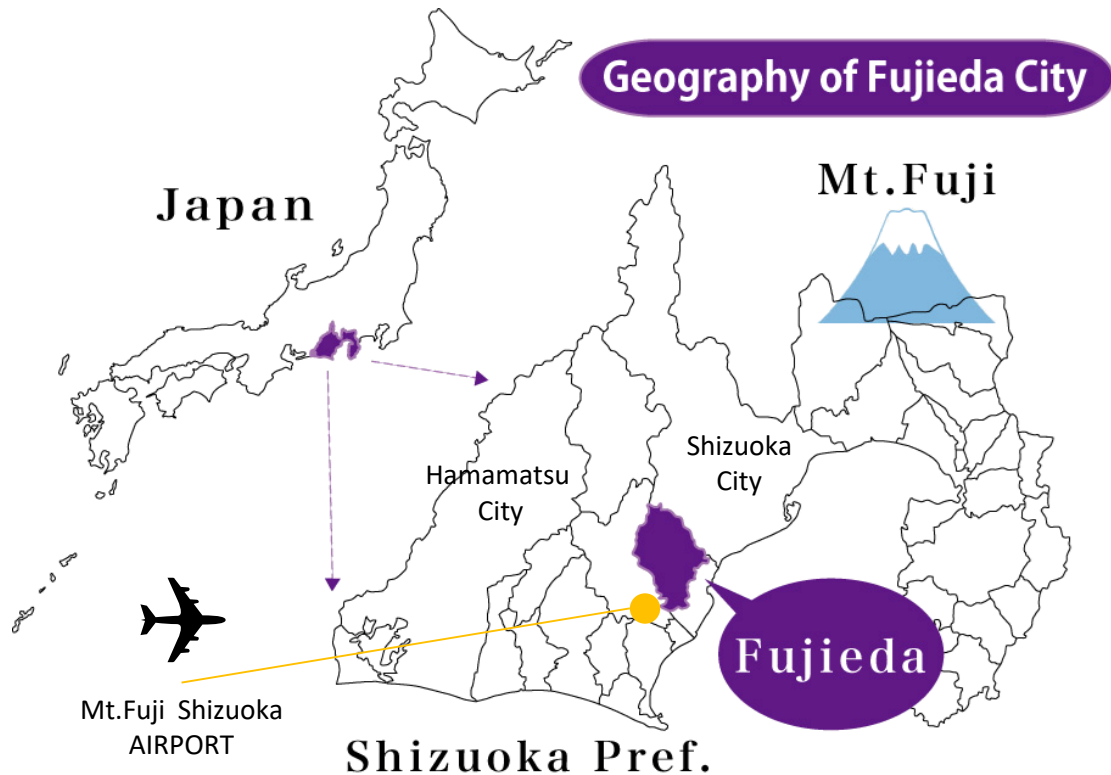
**先端技術で
安全・快適・便利なまちづくり**
～スマート・コンパクトシティの形成に向けて～

**藤枝市副市長
河野 一行**

藤枝市の概要

静岡県のほぼ中央
静岡市に隣接
浜松市の東約50km

面積：194.06km²
人口：141,857人
【R5.3月末現在】



サッカーと時間を刻む

蹴球都市



©2023 FUJIEDA MYFC

藤枝MYFC



藤枝東高校



藤枝明誠高校



藤枝順心高校



全国PK選手権大会

朝から温・冷2杯を食す！朝ラーのまち



市民の暮らしの基本となる「4つのK」を推進

健康 Kenkou

「守る健康」「創る健康」で
“健康・予防日本一”を目指す

教育 Kyouiku

「子どもの笑顔」で
“教育日本一”を目指す

環境 Kankyou

「もったいない」で
“環境日本一”を目指す

危機管理 Kikikanri

「リスクマネジメント」で
“安全・安心日本一”を目指す

都心 中心市街地

志太榛原50万人都市圏の“生活・交流”都心づくり

人々が集い、過ごし、
交わる拠点。
利便性と魅力の向上により、
定住人口、来訪人口誘導

R9竣工予定



駅前一丁目6街区

R8竣工予定



駅前一丁目9街区

少子高齢・人口減少社会を切り拓くために

現状・今後

産業の持続性確保・担い手減少

若い女性の流出

郊外・中山間の交通弱者増加

自然災害リスクの拡大

強靱でヒト・モノを引き寄せる

コンパクト+ネットワークの強化 ×

求められるもの

生産性向上・人材育成

⇒ 柔軟に働き活躍できる環境

⇒ 移動支援・安全モビリティ

⇒ 都市防災対策・ライフライン

デジタル活用

ICTで人の流れを呼び込むまちづくり

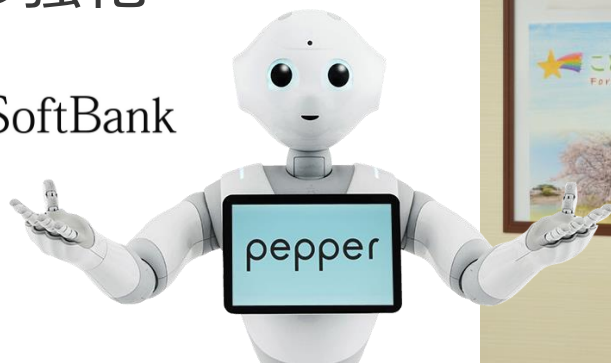


⇒デジタル活用に向けた施策を推進

ICTで人の流れを呼び込むまちづくり

全国初 ソフトバンクとの包括連携 (2016.6)

- ICT・ロボットを中心にした教育の推進
- 健康推進のまちづくり
- 環境に貢献するまちづくり
- 危機管理の強化



ICTで人の流れを呼び込むまちづくり



市内全小・中学校でPepperを活用したプログラミング授業を実施。電子黒板やタブレット等学校ICT環境を整備し、情報活用能力を育成

プログラミング全国大会優勝の中学生が、シリコンバレーで研究発表



特化した教育で子育て世代を誘導



コンパクト+ネットワーク

+
ICT



スマート・コンパクトシティの形成

市民・まち・市役所の3領域でデジタル化推進

市民サービスの向上

市民（暮らし）

- ・ デジタル化×4K施策
【健康・教育・環境・危機管理】
→安全・安心な暮らし
→人材育成【情報活用能力の向上】
- ・ デジタル化×生活交通
→快適・便利な暮らし

まち（地域・産業）

- ・ デジタル化×まちづくり・土地利用
→スマートシティの形成
- ・ デジタル化×働き方
→テレワークの推進
- ・ デジタル化×産学官連携
→ビジネス・イノベーションの創出

市役所（行政サービス）

- ・ デジタル化×市民サービス（窓口）
【申請・届出】
→手続きの利便性向上
【ワンストップ・ワンズオンリー・
キャッシュレス・オンライン化】
【コミュニケーション】
→SNS・アプリなど窓口の多様化

市役所（内部事務）

- ・ デジタル化×業務・システム見直し
→事務の効率化・最適化
- ・ デジタル化×執務環境
→働き方改革・BCP
- ・ デジタル化×政策立案
→EBPM・行政運営の高度化

オープンイノベーションの推進

○地域課題や社会課題を解決する

大学や民間企業とのマッチングにより、
都市強靱化・市民の安全安心を構築

○市民がスマートシティの将来像を
イメージできる機会の創出

オープンイノベーション①

災害時の健康・衛生の確保

AI水循環技術を活用し、100ℓの水で約100回のシャワー利用を実現するシステムの運用実証

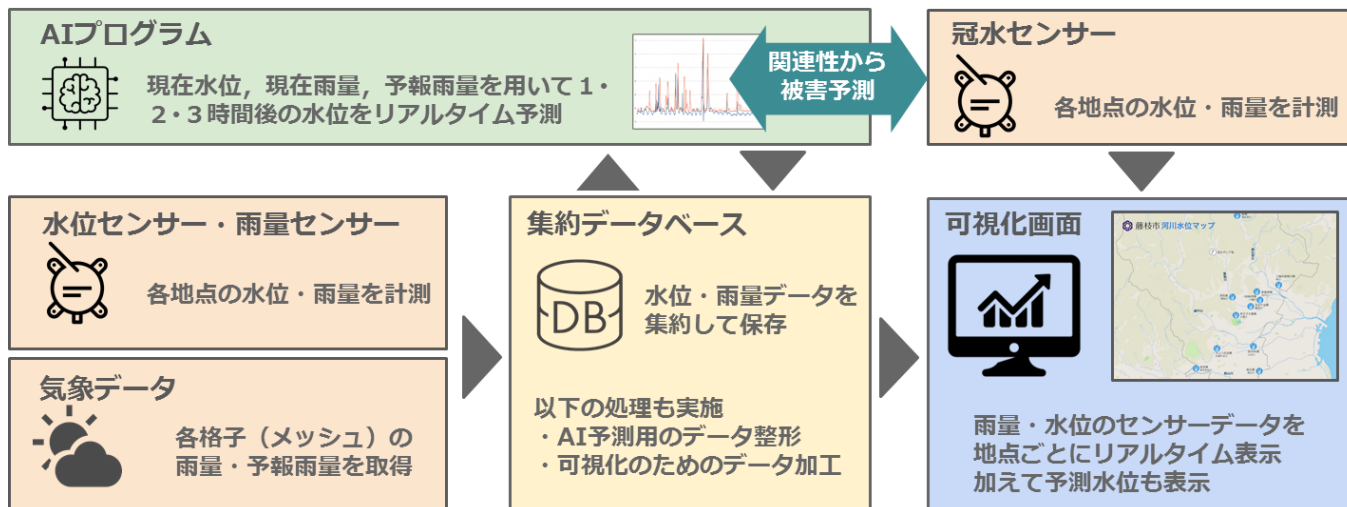


AI水循環システムを活用したシャワーブース 14

オープンイノベーション②

都市災害から市民を守る

IoT水位計を市内12河川に設置。AIによる水位予測と冠水センサーを組み合わせ、内水氾濫と水位の因果関係を検証中。
逃げ遅れゼロに向けてデータを危機管理部門で共有し、庁内横断的に活用。



データを庁内横断的に活用



オープンイノベーション③

市民の健康課題解決に向けて

オンライン健康医療相談の導入で、24時間365日相談受付

健康医療相談

相談内容例

最近、肌荒れがひどく困っています。自宅でできる簡単な処置を教えてくださいませんか？
28歳 女性

妻が急に体調が悪くなりました。深夜なので病院に行くべきか否か、迷っています。アドバイスをいただけますか？
45歳 男性

足をくじいたようで、2日前から違和感があります。病院に行こうと思いますが、適切な診療科を教えてくださいませんか？
60歳 女性

HT | HEALTHCARE TECHNOLOGIES

医療従事者が
回答を市民へご提示

①健康アドバイス
一般薬も併せて推奨

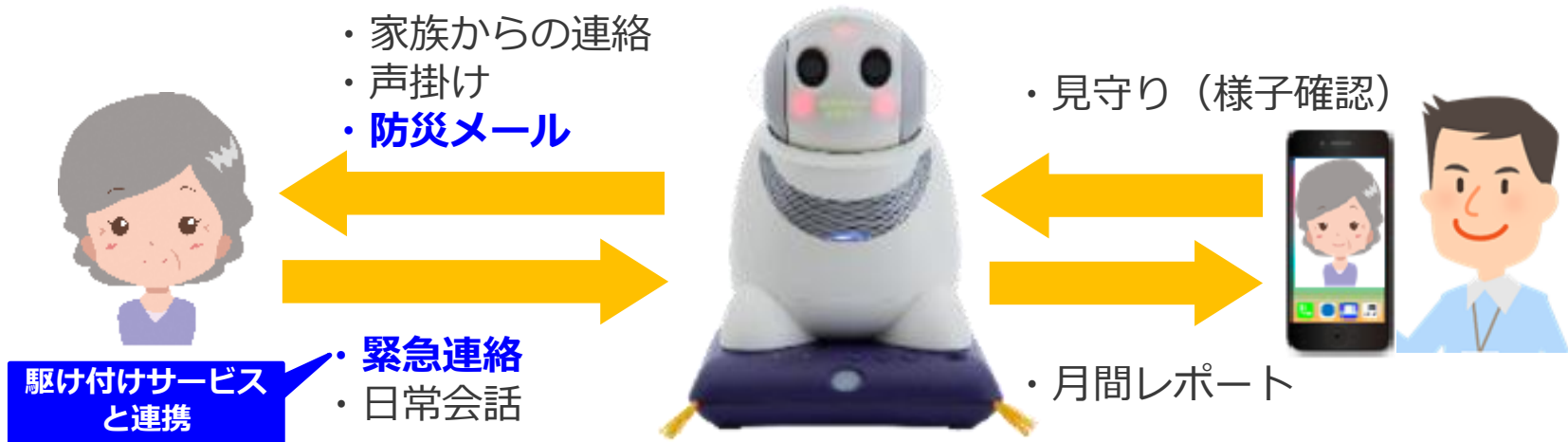
②適切な診療科
※かかりつけ医推奨

③受診目安

オープンイノベーション④

独居高齢者の見守り・情報伝達

見守りロボットに、本市の防災メール受信と駆け付けサービスを連携し、安全な暮らしを提供



オープンイノベーション⑤

市民を交通事故から守る

センサーカメラを搭載した「多機能カーブミラー」、
「歩行者検知式発光横断支援装置」で、出会い頭事故防止



2方向からの交差点進入でシグナル点灯

カメラセンサー・AIエッジ
コンピュータにより車両検知



歩行者を検知し、光で車両にお知らせをする横断支援装置

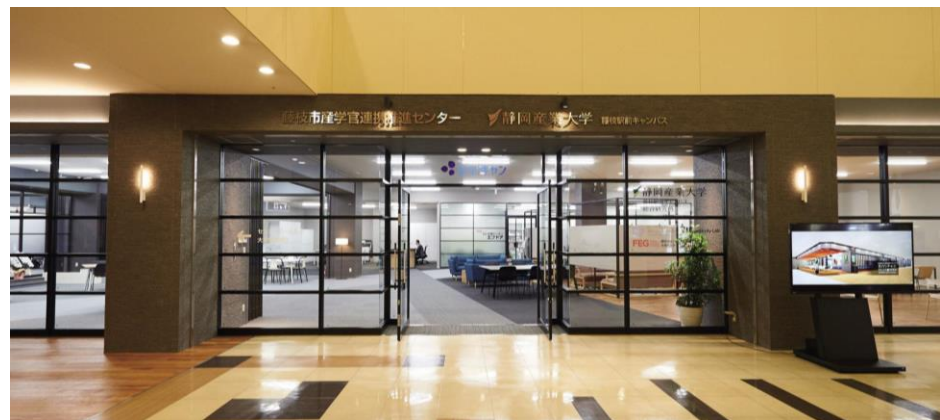


産学官でDXを推進する組織を設立

産学官連携組織「藤枝ICTコンソーシアム」
により、人材育成・地域DX・新しい働き方を推進



ふじえだ
ICTコンソーシアム
Fujieda ICT Consortium



設立：2017.4 参加団体：約110法人・団体

目的：ICTの効果的な活用による地域産業活性化、相互の成長・発展

事業の効果

- **市民の皆様の理解を得る**
- **業務の変革・職員の意識改革**
- **産学官連携体制**

事業の効果【市民の皆様の理解を得る】

○「安全・快適・便利」の実感

企業が持つ先端技術の実証は、行政の効率化だけでなく、市民がデジタル活用への理解や認識を深める機会。

→実証実験は、市民が利便性を実感し、先端技術への理解を深める機会づくりでもある。

評価・ニーズが高いものであれば導入を検討。

事業の効果【業務の変革、職員の意識改革】

○高効率化により人的資源を市民サービス向上に
作業を自動化・高効率化することで、業務工数が劇的に
減少。人的資源を市民対応等に振り分けることが可能に。

○デジタル活用意識の醸成

実証等で担当課の課題解決を図ることで、デジタル活用
の有効性の認識と活用意識を高める

→人的資源の再配置による市民サービス向上。

導入・改善効果は、業務変革のみならず意識改
革にもつながる。

事業の効果【産学官連携体制】

○技術や知見の共有

商工団体や地域の大学が主体の推進組織を設立し、行政主導ではないデジタル化推進の座組を確立。企業が持つ技術や大学の研究などの共有によるオープンイノベーションを促進。

→“地域課題の解決”と“イノベーション推進”
を実現する体制づくり。

見えてきた課題

- 導入・維持コスト
- 事業者のサービス化判断
- 課題認識、意識醸成
- 持続的な事業運営

見えてきた課題【導入・維持コスト】

○先端技術であるが故のコスト感

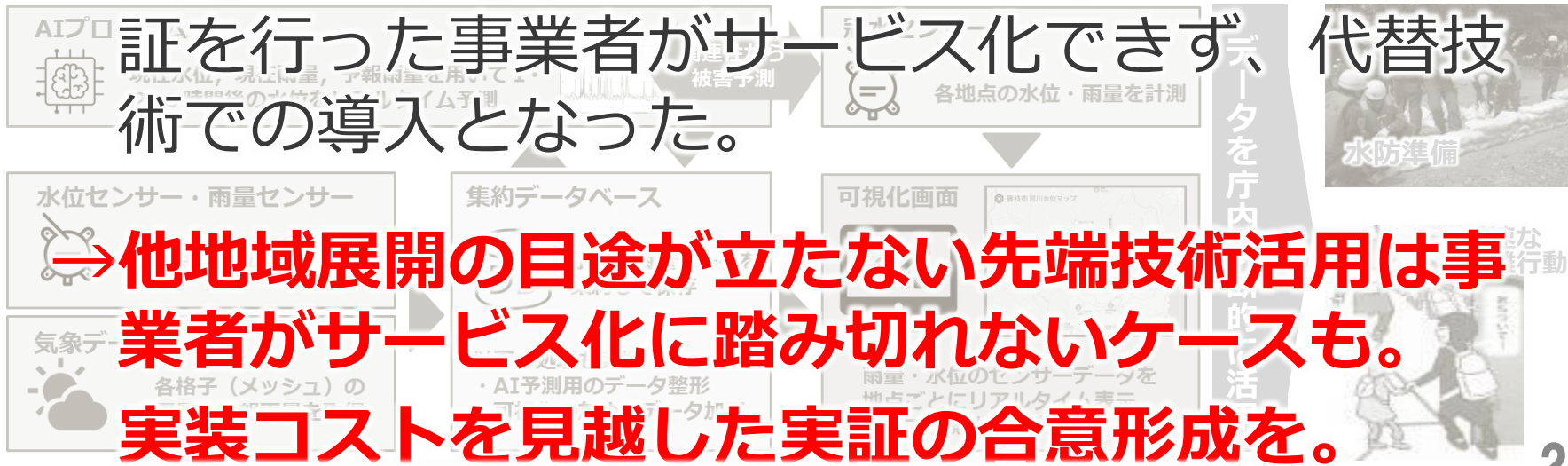
市場競争が成熟した分野の技術ではないため
導入・維持コストのいずれも、比較的高額で
従来の予算枠で対応が困難。

**→真に住民利便性が向上するもの＝市民の理解
を得ることが必要。**

見えてきた課題【事業者のサービス化判断】

○地域特有の課題解決の採算性

実証では課題解決効果があったものの、共同実証を行った事業者がサービス化できず、代替技術での導入となった。



見えてきた課題【課題認識、意識醸成】

○潜在的な課題・需要に対する認識

既存の業務のやり方に捉われ、潜在的な需要や課題への対応に、担当課が必要性を感じていない。【余力がない現状も⁽⁷⁾】

○データを有効活用する業務のやり方

スマートシティ形成の基本となるデータ連携基盤（都市OS）へのデータ連携以前に、データを分析・活用する意識が必要。

→ 「労力をかけてでも解決したい課題」の追求、**「担当課・職員が困っていること」を解決する視点が必要。**

併せて、データを活用する業務のやり方（EBPM）を組織に浸透させる必要がある。

見えてきた課題【持続的な事業運営】

○事業推進組織の持続性確保（財政的課題）

行政からの補助金や業務委託による事業推進に依存し、独立採算組織への展開が困難。

→ **推進力・経営意識を有するキーパーソン、中心企業・団体の不足。危機意識を持った地元企業を巻き込み、主体的に関わりを持たせることが必要。**

目的：ICTの効果的な活用による地域産業活性化、相互の成長・発展

まとめ

効果

- 市民の皆様の理解を得る
- 業務の変革・職員の意識改革
- 産学官連携体制

課題

- 導入・維持コスト
- 事業者のサービス化判断
- 課題認識、意識醸成
- 持続的な事業運営

4Kスマートシティで実現する未来の概観

【健康】



健康な食生活の推薦や、遠隔医療の実現で、どこにいても安心かつ健康でいられる暮らし

【教育】

AIがその人にあった学習を推薦し、誰もが学びたいことを学べる環境の実現



脱炭素社会の実現に向けたエネルギーの効率化や、廃棄食料減につながる地域内循環の実現



IoTセンサーやAIによる予測で危険を回避。災害状況がリアルタイムで可視化され安全安心な社会に



【環境】

【危機管理】

R2
現在取組中

H29
R2

**4Kを柱とした
スマートシティの形成**
4K分野における先進サー
ビス運用と、データ連携実
需に伴う連携基盤（都市
OS）活用により都市全体
をスマート化

**スマートシティを支え
るサービスの創出**
地域の実情に合わせ、デジタル
の効果を実感できる分野から、
官民連携によりサービスを構築

推進体制の確立
産学官連携や、先端技術を持
つ民間事業者との連携によ
りデジタル化推進体制を確立

STEP3 4Kスマートシティ形成で暮らしの満足度向上



STEP2 先進的なサービスの創出・実装



STEP1 事業推進の基盤づくり



未来に向け、安全・快適・便利な スマート・コンパクトシティへ



藤枝市
Fujieda City